



2018・4・1

第 301 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

自民党大会が9条改憲の運動方針を決定

4・7集会を反撃のステップに

自民党は3月25日党大会を開き、9条改憲に向けての運動方針を最終決定しました。これに関し九条の会は3月30日、記者会見をおこない、以下のアピールを発表、4月7日には「九条の会集會」を開き全面的な反撃への意思統一をはかることを明らかにしました。会見には、呼びかけ人の澤地久枝さんと世話人の6人が出席、今日の事態に関するそれぞれの見解を述べました。

安倍9条改憲 NO！

3000万署名達成へ

九条の会アピール

2018年3月30日 九条の会

安倍首相は25日、森友文書改ざん等への国民の大きな批判がまきおこっているさなか、自民党大会のあいさつで、あらためて「(9条に)自衛隊を明記し、違憲論争に終止符を打とうではありませんか」と9条改憲への強い決意を表明しました。自民党もこれを受け、改憲案の国会発議にむけ「改正案を示し、憲法改正の実現を目指す」と

安倍9条改憲 NO！

3000万署名達成へ

——九条の会集會

◇日時 4月7日(土) 14時00分

◇会場 東京都北区 北とびあ

◇内容

*事務局報告 事務局長・小森陽一

*呼びかけ人・世話人からの訴え

澤地久枝／愛敬浩二／浅倉むつ子／

池内了／池田香代子／伊藤千尋／

清水雅彦／山内敏弘

*各地から署名の取り組み報告

◇参加費 無料

の大会方針を決定しました。これは、民主主義の根本に対する許しがたい攻撃であり、日本国憲法はいま、戦後もっとも重大な岐路に直面させられています。

具体的な条文案は野党や世論の反応をみながら最終確定するとしているものの、自民党がこれまでの論議を通じてまとめた9条改憲案は、安倍首相の提起をそのまま取り入れ、戦争放棄を定めた1項と戦力不保持を決めた2項を維持しながら、「9条の

2」を新設し「前条の規定は…自衛のための措置を妨げず、そのための実力組織として…自衛隊を保持する」と明記することで現行の9条1項2項を死文化してしまおうとするものです。注目しなければならないのは、改憲案で保持が認められた自衛隊は、あの戦争法（安保関連法）で海外での武力行使に乗りだした自衛隊だという点です。それどころか、改憲案は、わざわざ「自衛のための」措置という文言を挿入することで、戦争法ですら認めなかった集団的自衛権の全面的な行使にまで道を拓こうとしています。

また、自民党の「緊急事態条項」に関する改憲案の危険性も9条改憲と連動して見逃せません。改憲案は、「大地震その他の異常かつ大規模な災害」の際の国会議員の任期延長に加え内閣による政令制定権を規定しています。この「緊急事態条項」は軍事的な緊急事態での政府権限の拡大や人権の制限にも適用される危険をはらんでいます。

安倍政権は集団的自衛権行使の閣議決定や戦争法などによって、アメリカとともに地球的規模で「戦争する国」への道を切り拓いてきました。安倍9条改憲がその総仕上げとなることは明らかです。こうした9条改憲は朝鮮半島危機の武力による「解決」を鼓舞し、その平和的解決に逆行するばかりか、東北アジアの軍拡競争をあおり立てるものです。

先の戦争における日本人310万人、日本の侵略によってもたらしたアジア諸国民2000万人という痛恨の犠牲への深い反省にたって定められた9条をこのような形で改悪することは絶対に容認できません。

安倍政権は森友文書の改ざん問題をはじめとした数々の悪政により追い詰められ、改憲強行のスケジュールも大幅に後退を余儀なくされています。しかし、安倍政権が続く限り改憲の動きは止みません。この歴史逆行の企てを許さない保障は、いまおこなわれている森友問題糾弾の世論をさらに高めることとあわせ、九条の会も参加する「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が取り組む3000万署名を必ず達成し、9条改憲の国会発議を許さない大きな世論を作り上げることです。そして安倍首相を退陣に追い込むことです。

すべての皆さんがこの歴史的な運動に参加されることを心からよびかけます。

呼びかけ人・世話人のひとこと

記者会見における呼びかけ人らの発言。

〈呼びかけ人・澤地久枝さん〉 私は朝鮮戦争時に大学生であった。その時もそうだが、主権在民の国なのにウソがまかり通っている。主権在民をアベ政治が踏みこじろうとしている今、私たちは学ぶことができる。学ぶ人が増えている。そこに希望がある。

〈世話人・浅倉むつ子さん〉 安倍政権は、まるでマッチポンプのように、軍拡しながら改憲をたくらみ、北朝鮮の脅威を煽ってJアラートの訓練を押し付けている。9条は手放さないというメッセージこそ世界に広めるべき時。軍事研究するな。学問の自由を侵すな。

〈世話人・池内了さん〉 アベ政治は「入り口」は優しいが現実は違う。自衛隊の存在の認知は、行動の認知につながる。そし

て行動の結果も認知させられる。何をもち
らすか、戦前の軍隊を思い起こすべき。防
衛装備移転 3 原則、軍事研究も同じ。アベ
政治の姑息なやり方に騙されてはいけない。

＜世話人・池田香代子さん＞ 安倍政権
のもとでの改憲に大反対。安倍政権の下で
偽の文書に基づいて国会を運営してきた。
臨時国会を開いたと思ったら「国難」解散。
国会が始まったら働き方「改革」。自民党大
会も 9 条加憲案に落ち着く。9 条加憲は巧妙
だが、説明すればわかってもらえる。

＜世話人・伊藤千尋さん＞ 国民が認め
ているのは災害救援の自衛隊。それを「武
力としての自衛隊」にすり替えようとして
いる。2016 年韓国は「キャンドル・デモ」
で朴政権を倒した。「2015 年の日本の戦争
法反対運動に学んだ」と聞いた。今度は私
たちが学ぶ番。

＜世話人・清水雅彦さん＞ 自民党の 9
条改憲案はいろいろな解釈が可能で危険。
集団的自衛権は当然に入っている。「国民の
安全」から在外邦人の保護も読み取れる。
首相の自衛隊指揮監督権は、内閣による統
制が外れる危険がある。立憲的改憲論とい
う議論もあるが 9 条の維持こそ大事。

＜世話人・山内敏弘さん＞ 財務省の文
書改ざん問題は財政問題だから流れたの
ではないか。軍事情報は同じでないはず。特
定秘密保護法はすべての軍事情報を秘密に
できる。緊急事態条項が自然災害に限定さ
れると見るのはまちがい。在外には人為的
なものもあり、「武力攻撃事態」も含まれる。

3000 万署名達成へ 6 県が交流

【東北 6 県 9 条の会】 東北 6 県各地の

9 条の会の交流会が 3 月 20 日、盛岡市内で
130 人の参加で開かれ、3000 万人署名の取
り組みを交流しました。今回で 8 回目です。

総がかり実行委員会の高田健共同代表が
講演しました。高田氏は、市民と野党が結
束し情勢を切り開いていることに確信を持
つよう呼びかけ、「私たちの最大の力である
3000 万人署名は、単なる署名運動ではなく、
数千万人という壮大規模で行う対話運動で
す。全力で広げて世論を変え、国会で改憲
を発議させないこと」と訴えました。

全体交流会では、各県と東北 6 県市町村
長 9 条の会らが発言しました。

署名推進の工夫について、「県独自のポス
ターを制作してアピールし、市町村単位で
学習会開催を進めている」（岩手県）、「署名
の担い手を増やすことを重点に、地域ごと
に集会やつどいを開催している」（秋田県）、
「会員全員が取り組むために、全会員へニ
ュースや署名用紙を届けて協力を呼びかけ、
地域で憲法カフェ開催に取り組んでいる」
（山形県）など経験が出されました。

目標達成では、署名の担い手を広げる組
織づくりの報告が相次ぎました。「戦争法廃
止の運動でつくったネットワークに参加し
た団体が中心となり、3000 万人署名青森の
会を発足させた」（青森県）、「署名の経験交
流、達成目標の共有化、共同行動を目的に
署名推進センターを立ち上げた」（宮城県）、
「県北の医療生協 23 支部 150 班で、改憲反
対の世論を盛り上げる方針を確認、戦争法
廃止署名の倍の目標を決定した」（福島県）。

最後に、9 条を守り「戦争しない国」で
あり続けることに誇りと確信を持ち、3000
万人署名達成で「安倍 9 条改憲 NO」の国

民的世論を形成することを呼びかけるアピールを、満場の拍手で採択しました。

協力よびかけで広がる署名の輪

【山梨県／山梨9条の会】 山梨9条の会は3月25日、甲府市内で県内9条の会交流会を開き、160人が参加しました。

一橋大学名誉教授の渡辺治さんが「安倍改憲のねらいと9条の会の役割」について講演しました。

渡辺氏は「安倍首相が9条改憲に執念を燃やすのは、アメリカの要請にこたえたい。日本を軍事大国として復活させるという特異な野望がある」と指摘。

そのうえで「安倍改憲に立ちふさがる市民と野党の共闘を広く強くすること。市民アクション、9条の会の出番です」と強調し、「3000万人署名の力で、安倍改憲の執念を打ち砕き、安倍政権打倒で改憲問題を葬ろう」と訴えました。

県内の六つの9条の会から発言があり活動を交流しました。南アルプス市の代表は「農協の組合長が署名の呼びかけ人となったチラシが力になり、市内に16ある支所が協力してくれた。安倍の改憲反対に党派は関係ない」と話しました。

女性9条の会代表は「署名のよびかけをメンバーのつながりのある団体・個人に郵送したら、1207人の署名が寄せられた。190人集めてくれた人もいた。『9条こそ日本の品格。私にできることを』と手紙が添えられ、署名が待たれている」と語りました。

国民投票法のゆがみを学ぶ

【長崎県／全国市民アクション・ながさ

き】 「安倍9条改憲NO！全国市民アクション・ながさき」は3月17日、長崎市内で集会を開き、学習と3000万人署名の取り組みを交流、約120人が参加しました。長崎大学の井田洋子教授（県九条の会事務局長）が、9条改定案について講演しました。

井田氏は安倍首相の、憲法9条を残したまま自衛隊を書き込むという案について「解釈で合憲としている自衛隊を憲法で合憲とする。もしそれが否決されたら自衛隊は違憲の存在となる。加憲してもしなくても変わらないという説明は無責任で、論理的に0点である」と指摘しました。

多くの参加者から質問があり「国民投票法の問題点とは」との質問に井田氏は「現状のまま国民投票がおこなわれると、投票率が30%しかなくてもその半数15%の賛成で決まってしまう。国民投票法自体がゆがんでいるので、そこを直さない限り国民投票に付すことはできないと、同時に訴えていかないといけない」と述べました。

3000万人署名に取り組む、各市民団体から活動報告があり、「女の平和IN長崎」のメンバーは『憲法9条に自衛隊を？』のミニパンフを作成し配布。大学前や街頭で行動していくと発言しました。

集会後、参加者は市内繁華街で「ストップ安倍改憲」などと書かれたおそろいの帽子をかぶりスタンディング。3000万人署名に取り組みました。

工夫こらし掲げた目標達成へ

【新潟県／新潟県9条の会】 新潟県9条の会は3月24日、安倍9条改憲NO！3000万署名を達成するために、新潟市で各

地域の9条の会代表も参加する拡大事務局会議を開きました。

工藤和雄事務局長（弁護士）が「先進の経験に学び、9条の会の役割を果たそう」と訴えました。

新潟市の青山・真砂地域の9条の会（準備会）は、「地域で5000人を目標に全戸訪問を計画。①毎週水曜に集中して行動②議論して論破しようとしな③地域に9条の会があることを知らせる—を確認して行動しています。事前に署名用紙と協力依頼文、封筒を各戸に届け、1週間後に訪問して封筒を受け取ります。これまでに530戸に届け、140人が署名しました。

柏崎・刈羽9条の会は、戦争をさせない柏崎・刈羽の会と共同で2万人の署名を目標に、小学・中学校単位での取り組みを強化。共産党・社民党・無所属の市議の各後援会が地域を訪問し、署名を集めています。柏崎市のある小学校区では世帯の半数1000人を集め、刈羽村では党派を超えた取り組みで1000人の目標で300人を集めています。

魚沼市の会は4月8日に学習講演会と決起集会を計画し、上越市では平和展（5月3日～5日）を開きます。

シンポジウムで問題点深める

【静岡県】 静岡県伊豆の国市で3月24日、立場を超えて安倍9条改憲をストップさせ、3000万人署名を推進しようと安倍改憲への疑問に応えるシンポジウムが行われ、ました。主催は伊豆、伊豆の国、三島の3市と函南（かんなみ）町の9条の会などで構成する実行委員会です。

パネリストは小池清彦氏（新潟県加茂市

長・元防衛庁教育訓練局長）、静岡県内在住の小笠原里夏氏（弁護士）と、馬場利子氏（憲法出前講座講師）がつとめました。

小池氏は、政府見解は「自衛力は持てるが、必要最小限度、もしくは、必要かつ相当のものでなければならない」と言っていて、自身もその立場と説明。「憲法9条があるからベトナム戦争など派兵しなくて済んだが、もし自衛隊加憲を許せば、アメリカの要請を断れなくなる。憲法に絶対に手をつけてはならない」と強調しました。

小笠原氏は、安保法制＝戦争法が施行されている現在、自衛隊を戦力でないと言うのは無理があると指摘。そのうえで軍隊を保持しないという9条のもと、自衛隊を明記する改憲案は明らかに法治国家として論理矛盾だと批判しました。

馬場氏は、憲法講座を110回行い、若い人とも憲法前文から読み合わせ学びあっていると紹介。「日本を戦争から守ってくれたすてきな憲法です。私自身も最初は知らなかった。今回の改憲案を、恐怖をもって迎えるのではなく、みんなで憲法を学び考え合うチャンスにしよう」と呼びかけました。

実行委員会代表の石田義明・伊豆の国市9条の会世話人は、「今こそ3000万人署名で国民が声を上げるとき。世界から尊敬される日本こそめざそう」と訴えました。

参加した男性（59）＝伊豆市＝は「自分たちの自由や権利を縛っていくような改憲なんて絶対に許してはいけない。安倍政権の強引な改改憲をストップさせるため、3000万人署名で反対の世論を広げたい」と話しました。

森友文書改ざん抗議と結合し

【東京都荒川区／千住9条の会】 3月に入り、4回、駅頭での3000万署名を取り組みましたが、森友文書改ざん問題に対する安倍首相への怒りが大きく、今まで以上に署名してくれる方が増えています。「改ざん問題で安倍首相は許せない」「安倍は大きらい」「安倍は退陣させないとひどいことになる。いままでの自民党はまだ良かった。最悪の政権だ」と話がつきない方も。また中学生や高校生が沢山署名してくれます。「9条好き！安倍さんキライ」「戦争はイヤです」「安倍さんが憲法変えようとしていること知っている。変えないほうがいい」また、ある高校生は「これ(署名)だけで変わるのですか」と問いかけてきたので「署名だけではすぐには変わらないけど、これだけ沢山の方が反対していると届けるのは大事ではないかと思います。でも、安倍政権を変えるのが一番だよ」と言う。「がんばってください」と激励してくれました。ある若者は、「よくわからないけど署名します」と書いてくれたり、「あ、署名していこう」とこちらがどのような署名をやっているのかわからないまま、署名しようとする若者も(きちんと説明して書いていただきました)。音楽を交えながら楽しく笑顔で署名活動を今後も継続していきます。

31日は、地域への戸別訪問を行います。また、3月20日には第6回憲法カフェを開催し、お子様を含め40名の参加者が長尾詩子弁護士と辻田航弁護士の講演のあと、熱くディスカッションを行いました。元自衛官の方もご参加くださいました。長尾弁護

士の「北朝鮮が攻めてきたらどうする、ではなく、攻められたらおしまい。攻められないようにどうすればいいのかを考えましょう」というお話は、今後の署名活動に生かしていきたいと思いました。

(千住九条の会 中田順子)

若い人にも署名を広げて

【愛知県豊田市／豊田市民アクション】

豊田市で3月25日、学者、弁護士、宗教者ら多彩な14氏の呼びかけで「安倍9条改憲NO！豊田市民アクション」が結成されました。ジャンプアップ集会には80人を超える市民が参加。5月3日までに10万人分の署名を集める}」となどを確認しました。

呼びかけ人の梅村浩司弁護士がアクション結成の経過を報告し、「安倍9条改憲ノーの世論をつくるには運動の輪を広げること。署名に取り組む人を広げに広げ3000万人署名をやりとげよう」と訴えました。

経験交流では「友人・知人190人に返信用封筒付き署名用紙を送り、次々と署名が届けられている」「住んでいる県営住宅を全戸訪問し、半数が署名に協力してくれた」「新婦人の赤ちゃん小組の会員が若いママ友から署名を集めている」などの報告がありました。

共産党の大村義則、根本美春の両市議、社民党県副幹事長の田中九思雄氏、元県議の小林収氏が参加しました。

集会に先立ち、長峯宣彦・愛知大学教授が「安倍壊憲vs戦争の教訓・市民の団結・憲法の規範力～自民党改憲 ついにナチスの手口の21世紀的再現か」と題して講演しました。